

○棕櫚ノ圖

春日權現驗記ハ有名ナ繪卷デアル。コノ繪卷ニハ春日ノ社頭ヲエガイタ圖ガイクツモ・出テ來ルガ、ソノ圖ノ中ニイツモ同ジ杉ノ木ト松ノ木トガエガカレテキル。サウシテソノ松ノ木ノ蔭ニマタイツモ同ジ一本ノ棕櫚ノ木ガ寫サレテキル。コノ圖ハコノ繪卷ガツクラレタトイフ延慶二年ノ頃ノ春日ノ社頭ヲ寫生シタモノデアラウト思ハレル。松ノ梢ニ藤浪ガカ、ツテキルソノ蔭ニ棕櫚ノ木ガ見エ隠レシテアルトコロナド春日ノ景色ハ今モ昔モ變ラナイノデアル。延慶二年トイヘバ今カラ六百何年カ前デ花園院ノ御代ノコトデアル。ソノ頃ノ棕櫚ガコノ繪卷ニ寫サレテキルノデアル。棕櫚ノ圖トシテハ隨分古イモノ、ハツデアラウ。棕櫚ハ我國ニ野生シテキルトイフコトヲ聞カナイカライズレ支那カラ渡ツタモノデアラウ。ソノ木ガ禁裏ニ栽エラレテキタトイフノハコノ繪卷ナドヨリモハルカ古ノ延喜ノ御代ノコトデアル。我國ニ於ケル棕櫚ノ栽植モ久シイコトデアルトイハナケレバナラナイ。

（靱山泰一）

○間違二件 (Specimens overlooked by Dr. MERRILL and Dr. G. KOIDZUMI)

此處ニ間違ヒト申ス二件ハ (1) On the Type of *Rhus javanica* LINNÆUS トシテ Harvard 大學教授 E.D. MERRILL 氏ガ New York 植物園長當時ニ The Journal of the Arnold Arboretum IX no. 1 ニ寫眞二葉ヲ添ヘテ出シ *Rhus javanica* ノ type ハ *Brucea javanica* (L.) MERRILL デアルト云フコトヲ記シテ居ルコト。(2) ハ小泉源一博士ガ *Fraxinus japonica* BLUME モ *Fraxinus japonica* BUEGER モ標本ガ Leiden ノ Rijks-herbarium ニナイカラとねりこノ學名ハ *Fraxinus Nakajana* KOIDZUMI ト改ムベシト云フコトヲ植物分類地理學第 III 卷ニ書イテ居ルコトノ二件デアル。

(1) ノ場合ハ MERRILL 氏ハ LINNÆUS 氏ガ所持シテ居タ *Rhus javanica* L. ノ標本ノ一部分ヨリ見テ居ナイノデアル。私が倫敦ノ Linnæan Society ニ 2 回目ニ 1924 年 7 月 24 日ニ行ツタ時元氣デアツタ幹事長故 Dr. JACKSON 氏ニ會ツテ *Rhus javanica* ヲ見セテ貰ツタ時其中ノ一枚ハ正眞正銘ノぬるでノ花アル標本デ其レト MERRILL 氏ガ寫眞ヲ出シテ居ル標本トラ JACKSON 氏ハ出シテ來テ「此花アル標本ガ *Rhus javanica* ノ type デ他ノモノハ別ノ屬デ今一寸名ハ忘レタガ LINNÆUS 氏ノ type ト見テハナラヌ」ト説明シテ呉レタ、氏ハ會議室ノ側ニアル標本庫モ此時ニ見セテ呉レタガ室ノ演壇ニ向ツテ右手 壁側ニ鋼鐵ノ箱ニ入レテアリ箱ノ内側ハ金庫ノ様ニ石綿デ固メタル、JACKSON 氏ハ LINNÆUS 氏ノ標本ニツイテノ深い研究者デアツタ最モヨク一々ノ由來ヲ知ツテ居ル。即チ何ノ標本ハ誰ガ採集シ、何ノ符號ハ何ヲ意味スルナド云フコトモ一々研究シテアツテ私ハ當時種々ナ有益ナコトヲ直接氏カラ學ビ得タノデアル。一度 JACKSON 氏ノ留守ニ行ツタ時ニハ代理ノ人モヨク知ツテ居ルカラトノ事デハアツタガドウモ JACKSON 氏ノ様ニハ判ラズ代人デ判ラナカツタノハ後ニ JACKSON 氏ガ出シテ呉レタ程故 JACKSON 氏ノ死後 *Rhus javanica* ノ標本ヲ見ニ行ツタ MERRILL 氏ガ本物ヲ見ズニ終ツタコトモアリ得ベキコトト考ヘル。然シ私が一度見セテ貰ツタ本物ノわるでノ標本ガ Linnæan herbarium ノ何處カニ藏ツ